

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 菊池 隆		
健福-24	実施事業	在宅福祉サービスセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な施設の環境の保持を図るため。
効果	在宅福祉サービスセンター利用者の利便性向上

2 平成29年度に実施した事業の概要

地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂、御成町、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等の	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯			
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	35,857	35,290	当初予算(千円)	31,613			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	13,317	13,738	その他	12,281			
	一般財源	22,540	21,552	一般財源	19,332			
	人員配置数	1.2	1.3	人員配置数	1.3			
事業経費運営	人件費(千円)	9,384	10,177	人件費(千円)	10,430			
	総事業費(千円)	45,241	45,467	総事業費(千円)	42,043			
	市民1人当りの経費(円)	256	258	市民1人当りの経費(円)	238			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	御成町、台在宅福祉サービスセンターの所管換えにより、事業を縮小する。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input checked="" type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成29年度中に御成町在宅福祉サービスセンターの全部、及び台在宅福祉センターの一部を所管換えしたため、事業を縮小し、予算規模も縮小する。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	御成町在宅福祉サービスセンターは、保育園と障害者の就労継続支援に使用するため、保育課及び障害福祉課へ所管換えを行った。台在宅福祉サービスセンターの一部は口腔保健センター等に使用するため、市民健康課へ所管換えを行った。今後は、二階堂在宅福祉サービスセンターについては従来どおり管理運営を行い、台在宅福祉サービスセンターについては、市民健康課と連携して管理運営を行う。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	施設の経年劣化により、管理運営面での修繕に係る割合が大きくなっている。 御成町、台在宅福祉サービスセンターの活用方法の変更を進める。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	公共建築物の定期点検の結果に基づき、計画的な修繕の実施に努めると共に、付帯設備の部品の交換時期などにも速やかに対応した。 御成町在宅福祉サービスセンターの全部、台在宅福祉サービスセンターの一部の所管換え手続きを行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	施設の経年劣化により、管理運営面での修繕に係る割合が大きくなっている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考			
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--